

① 講演「福祉切り捨て」を終わらせるー幸福を分かち合う財政へー

「国の借金が多い財政危機だ!緊縮財政だ!福祉を削らねば!」そんな図式が当たり前のようになり、声高に叫ばれています。その結果、介護保険や年金、生活保護、医療などの社会保障がどんどん削られ、貧困状態に誰がいつ、陥ってもおかしくない社会に私たちは生きています。北欧のような福祉国家は夢のようで日本ではぜったい無理だと、多くの人はあきらめがちです。しかし実は、誰もが安心できる福祉国家をめざすと、財政がかえって回り始める、そんな方策があるようなのです。データをもとに詳しく講じていただきます。

日時 11月25日(日)13:30~15:15  
 場所 越谷市生活館(越谷市東越谷3丁目6-23)  
 参加費 300円  
 講師 高端正幸氏(埼玉大学人文社会科学部 准教授)



高端正幸氏

② 政策発表

埼玉政策2019発表(埼玉県市民ネットワーク)

来年の統一地方選に臨むにあたっての政策を発表します。3つの柱13項目の新しい政策です。

# 埼玉県市民ネットワーク通信

いっしょにやる!なんとかなる!  
 自分発でもくらしー!



2018年11月発行 57号

## 2019年統一地方選 代理人候補予定者を決定! 市民政治をさらに埼玉にひろげます

### 埼玉県ネット新たな大きい一歩

埼玉県市民ネットワークは設立して21年、これまで環境・福祉・議会改革・教育・農業など生活と直結する問題に取り組み多くの成果を上げてきました。また新しい羽生ネット準備会も初めての代理人を送る準備をしています。県内に草の根の民主主義を拡げる新しい一歩です。



辻 こうじ  
 県議予定候補(新人・現市議)



山田 ゆう子  
 市議予定候補(2期目)



清水 泉  
 市議予定候補(新人)

### 意欲に燃える面々

県議会には、越谷市議会議員として障害者福祉・障害児教育・再生エネルギー・医療・議会改革などに取り組んできた辻浩司(43)を擁立します。自民党単独過半数で旧態の目立つ埼玉県議会に風穴を開けます。

越谷市民ネットワークは、現職の山田裕子(35)と新人の清水泉(53)を越谷市議会に送り出します。山田裕子は空き家の活用・子育て・放射能問題などに取り組んできました。2人の小学生の親でもあります。清水泉はこれまで生活クラブ理事長として再生エネルギー・地域福祉などの実現に尽力してきました。親を介護した経験も生かします。

市民ネットワーク鶴ヶ島は3期目の大野洋子を擁立します。次期のローテーションを見据えながら取り組みます。大野洋子は議会改革・高齢者福祉・貧困問題などに取り組んできました。

羽生市民ネットワーク準備会は設立して1年、初めての選挙に斎藤万紀子(37)を擁立します。「だれにとっても住みやすいまち」をめざします。男性しかいない羽生市議会に女性の声、母の声を届けます。

またまちネット寄居は、将来ネットとしての選挙ができることをめざして、今回は地域主体で臨む候補(ネット会員)が挑戦します。

よしかわ市民ネットワーク、富士見市民ネットワークは今回は応援に回ります。



大野 洋子  
 市議予定候補(3期目)



斎藤万紀子  
 市議予定候補(新人)

## 埼玉県市民ネットワーク 地域ネット一覧

- ・生き生きネットワーク鴻巣  
 鴻巣市吹上富士見 3-11-12 西尾方
- ・越谷市民ネットワーク  
 越谷市東越谷 1-5-17 共生建設第2ビル1F
- ・市民ネットワーク鶴ヶ島  
 鶴ヶ島市富士見 3-27-106 大野方
- ・市民ネットワーク所沢  
 所沢市小手指町 4-17-48 光ビル1F
- ・富士見市民ネットワーク  
 富士見市針ヶ谷 1-26-18 加藤方
- ・ネットワーク三芳  
 入間郡三芳町北永井 871-5-3-403 鈴木方
- ・よしかわ市民ネットワーク  
 吉川市栄町 782-1 B906 猪野方
- ・まちネットワーク寄居  
 大里郡寄居町今市 212-1 大北方
- ・羽生市民ネットワーク準備会  
 羽生市南羽生 3-6-11 佐藤方

## 「住み開き」事例 「さとうさんち」を見学しました!



8月28日、生活クラブ運動グループで、さいたま市で「住み開き」を行っている佐藤真実さん宅を見学させていただきました。「住み開き」とは、自宅の一部を解放して、地域の人が集

える居場所を自宅の中につくることをいいます。今週お邪魔した「さとうさんち」の家主である佐藤真実さんは夫と二人暮らし。仕事が忙しく地域に関わるきっかけがなかったそうですが、3.11東日本大震災のとき、このまま地域との繋がりがなくなってしまうのだからと不安に思い、まずは地元の自治会館でコーヒースタイルを開くことから始めたそうです。そこで少しずつ地域に知り合いが増え、もっと繋がる場を作ろうと、近所の倉庫を借りてフリーマーケットを行うなど積極的に活動を広げていきました。現在は不定期で自宅の一室を開放し、地域の方々と一緒にご飯を食べたり、防災士の資格を生かして防災カフェを行ったりしています。自分らしいやり方で、地域とつながり、顔の見える関係を作ることできる「住み開き」。コミュニティが希薄になりがちな現在、とても多くの可能性があることを実感しました。あなたも自宅の一室を開放してみませんか?



埼玉県市民ネットワーク  
 共同代表 大野洋子 山田裕子

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋 1-5-3 ひゅうまんポスト内  
 MAIL saitamaken.shiminetwork@gmail.com  
 URL http://saitamaken-shimin.com/





# 地域ネット活動報告

## まちネット寄居 お城 de カフェ (オレンジカフェ)

寄居町鉢形城歴史資料館内の事務所の一角で、毎月1回開催されているオレンジカフェに参加。ネーミングもおしゃれな「お城deカフェ」。地域福祉の実態を知ることから始めようと、ネット会員数名で視察がてらの参加となる。この日はあいにく雨模様となったが、参加者はスタッフを含め50名以上の賑わいだった。グループホームからの参加者も多い。認知症の方とその家族、自由参加とうたっ



ていたので、行ってすぐなじめるのかと不安もあったが、この日は、猫の石膏像の絵付けで、だれでも即参加できる企画だった。皆童心に帰って懸命に絵具と格闘。同じ形の猫たちが実に個性的な猫に変身して大喜び。何よりスタッフの熱意に驚かされた。運営する社協、作業療法士の方々他、一般ボランティアの人も多数。スタートしてまだ2年余りだが、自分たちも楽しみながら運営している様子が印象に残る。それがこのカフェの活気となっているように感じた。町の足元でこんな素敵なサロンが開催されていることに驚かされる。町内のオレンジカフェの中でも成功例となっているとのこと。参加することで初めて模索しながらの地域の取り組みが実感できた。

## ネットワーク三芳 地域のつながり

私たちが子供食堂で利用している集会所の鍵の管理をしているご夫婦は毎日近くに住む小2のお孫さんを預かり夕食作りをしている。この夏ご主人が突然亡くなった。寂しさを訴える奥さんに「お孫さんと子供食堂に遊びに来て」と誘ったところ今度行きますとの返事。今まで鍵の受け渡しだけのお付き合いだった方とこんなかたちでつながっていくことになる。子供食堂が子供専用の居場所ではなく地域の人みんなの居場所にしていきたいと考えている私たちとしては少しうれしい。地域の多くの人とつながり子供たちにも大人にも居心地の良い場所をつくってきたい。



## 越谷市民ネットワーク 障害者雇用水増し問題 当事者参加で検証を

省庁や自治体で次々と発覚した障害者雇用水増し。越谷市でも、うつ病等で休職した職員13人が障害者手帳の所持の確認がないまま、障害者として算定されていたことが明らかになりました。

9月議会では、代理人の辻こうじがこの問題を取り上げて一般質問。「障害者のみならず、子育てや介護を抱える職員など多様な人たちが働ける職場を作ることが必要。それを抜きにして雇用水を増やしても結局数合わせになる」と指摘しました。その上で「そのための検証をしていくことが必要であり、検証委員会を立ち上げて障害当事者などの参加を求めるべき」と提案しました。

また、越谷市ではネットの提案により2名の知的障害者が雇用されていますが、臨時雇用のために雇用水に算定されていない点を取り上げ、「障害者雇用水には、短時間雇用や有期雇用などの多様な働き方は反映されない。雇用水制度そのものも改善する必要がある」と指摘しました。

市長からは「様々な手法で検討したい」などの答弁がありました。



## 市民ネットワーク所沢 福島いま～ネット運営委員研修

福島第一原発事故から7年。所沢市議会6月定例会では「モニタリングポスト継続配置を求める意見書」を国へ提出することができました。

現在の福島はどうなっているのか? 8月17～18日市民ネットワーク研修で福島を訪問しました。

飯館村「いいいた未来電力」南相馬市「みなみそうま復興大学」「南相馬中央図書館」を視察。地域の居場所「おだかプラットホーム」訪問。NPOとも懇談。

道の駅や公共施設の放射線量の低さを確認できた反面、帰還困難区域の道路周辺の地上放射線量は未だ高く復興の道のりの遠さを実感。

最後に寄った「希望の牧場なみえ」牛運に癒され、運動を続ける吉沢代表に勇気をもらいました。



## 吉川市民ネットワーク “チャレンジ! 財政分析” 第1弾終了

「吉川市の横事情形」を結成し、8月7日に吉川市の総務部財政課による出前講座を受けました。題して「広報よしかわ」から読み取る! 夕張市の財政破綻に始まり、財政状況を見る視点、健全化判断比率や類似団体について、ホワイトボードに板書というスタイルでの講義でした。参加者22名、みな学生に戻ったようでした。アンケートでは17人のうち16人から「面白かった。新しい発見があった」との回答がありました。

吉川市は7年後に人口減少に転じると見込んでいて、今が最後の投資のチャンスだとか。9月24、25日の2日間の連続講座では「市民による財政白書作り」でお馴染みの大和田一祐先生と更に勉強を重ねます。吉川市のどんな姿を読み取れるのかドキドキです。

その他10月5、6日には「ち〜む・あくあ@よしかわ」でNPO法人利根川流域交流会主催のシンポジウム、現地見学に参加します。よしかわネットは学びの秋です! Tシャツを新調したのでお披露目します。肩には県ネットで作った「生活って政治」のハンコ型ロゴも入れました!



## 市民ネットワーク鶴ヶ島 認知症ケアパス入門」講座に参加

高齢になるにつれ、認知症の割合は増加するとも予想され、85歳以上では、55%以上の方が認知症になるといわれています。今は大丈夫であっても、将来は適切な判断ができなくなるかもしれません。

7月、市民ネットワーク鶴ヶ島では、生活クラブ生協と「認知症ケアパス入門」講座に参加しました。市のまちづくり市民講座を活用して高齢者福祉課に講師をお願いしました。

物忘れが気になるごく初期の軽度認知障害・MCIは、年のせいとか言えはざすだと思ひ、家族も自分も見送ってしまったがちだとの説明でした。ごく初期の段階で、脳機能を鍛えるトレーニングを始めるかどうかで、5年後の生活が大きく変わってくるそうです。

市民講座に参加して、元気な方でも自分が、家族が発症するかもしれない不安をお持ちだということを感じました。

認知症にならないための予防策は、食事、社会との関り、趣味や運動があげられますが、誰かとおしゃべりするの、口も耳も同時に刺激されるので効果が大いそうです。

脳機能アップには、①旅行の工程や買い物の順序を立案! ②二つ以上の事を同時に行う! ③エピソード記憶は2日遅れ日記! ④この3つの機能を鍛えるトレーニングが効果的。簡単な問題を解くほうが脳トレになるということが意外でした。

## 羽生準備ネット

こんにちは、羽生準備ネットの齋藤万紀子です。

最近リーフレットを作成しました! 載せる文はもちろん、デザインもみんなで話し合い、同世代のママたちにも手に取って見てもらいやすいようイラストを一面にしました。



「みんなで作ろう! これからの羽生 だれにとっても住みやすいまち」ということで、たくさんの子供が遊びまわっていたり、みんなでお茶を飲んでいたり、マルシェが開かれていたりなど、見ていてわくわくするような仕上がりとなり、みんなとても気に入っています。「早く配ろう!」と焦って印刷したら誤字などもありましたが、このリーフレットがきっかけとなってまち作りの事を身近に話せたらと考えています。

今後は政策についてもしっかり話し合っていく予定です。色々アドバイス等宜しくお願いいたします。

